

令和2年度第1回みえスタディ・チェックの概要

1 目的

- ・児童生徒が自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育む。
- ・学習指導要領の趣旨や内容に基づき、児童生徒の学習内容の定着状況を把握し、授業改善及び個に応じた指導の充実等、各学校が組織的かつ継続的なPDCAサイクルを確立し、子どもたちの学ぶ意欲や学力の向上のための取組を促進する。

2 実施日及び対象学年、対象教科、実施校数

対象学年	小学校第4学年・第5学年、中学校第1学年・第2学年
対象教科	国語、算数・数学、理科
実施校数	小学校 第4学年 344校・第5学年 346校 中学校 第1学年 150校・第2学年 150校 ※対象児童生徒が在籍する全ての小中学校等で実施

※令和2年度第1回みえスタディ・チェックは、学校再開後の状況に応じ
て実施できるよう、実施期間を柔軟に設定しました。

3 各教科の平均正答率・平均無解答率及び改善状況

(1) 平均正答率

教科	小学校		中学校	
	第4学年	第5学年	第1学年	第2学年
国語	57.4%	46.2%	64.5%	60.8%
算数・数学	51.8%	50.9%	53.0%	44.7%
理科	58.8%	49.0%	48.1%	43.1%

(2) 平均無解答率

教科	小学校		中学校	
	第4学年	第5学年	第1学年	第2学年
国語	6.86%	15.27%	3.70%	3.64%
算数・数学	3.81%	6.23%	3.04%	10.72%
理科	3.25%	6.28%	4.34%	7.98%

(3) 過去に出題された問題（同一問題）の改善状況

① 経年的な課題に対応した問題の改善状況

《結果》

- ・国語では、文の主語を選択する問題は改善が図られていますが、主語と述語とのつながりに気を付けて文を書く問題に依然として課題が見られます。
- ・算数・数学では、わり算で求められる問題を選択する問題や鈍角を求める問題で改善が図られています。割合に関する問題に依然として課題が見られます。
- ・理科では、予想が正しい場合の結果を選択する問題でやや改善が図られていますが、実験の結果を考察することに関する問題や、濃度の問題で依然として課題が見られます。

校種 教科	学年	問題概要	県平均正答率		改善状況
			今回	過去	
小学校 国語	第4学年	文の主語を選択する	69.0%	65.2%	+3.8
			55.4%	49.5%	+5.9
	第5学年	複文において主語を選択する 主語と述語のつながりが合うように文 を書き直す	38.0%	40.3%	-2.3
			20.6%	38.1%	-17.5
中学校 国語	第1学年	指示された述語に対応する主語を選択 する	55.6%	40.3%	+15.3
	第2学年		34.8%	37.0%	-2.2
小学校 算数	第4学年	○÷□の式で求められる問題を選択する	37.2%	31.1%	+6.1
	第5学年		47.4%	37.3%	+9.7
	第5学年	180°よりも大きい角の大きさを求める	56.5%	24.2%	+32.3
中学校 数学	第2学年	○は□の何%にあたるかを求める式を 書く	10.4%	14.5%	-4.1
小学校 理科	第4学年	日光の重なりと、明るさや温度の関係に ついて、予想が正しければどのような結 果になるかを選択する	23.5%	20.3%	+3.2
	第5学年	予想が正しいことを確かめるために新 たに加える実験方法とどのような結果 になればよいかの正しい組み合わせを 選択する	20.3%	21.0%	-0.7
中学校 理科	第1学年	○mlの水に□gの食塩を溶かしたときの 食塩水の重さを選択する	35.6%	38.4%	-2.8
	第2学年	蒸散以外で、容器の中の空気中の水蒸気 量が増加した要因を記述する	19.5%	21.5%	-2.0

② 過去からの改善が図られた問題

《結果》

- ・国語では、漢字を正しく読む問題、文脈に応じて適切な敬語を選択する問題で改善が図られました。
- ・算数では、小4の棒グラフの読み取りの問題で改善が図られました。
- ・数学では、四則の混合した計算やメモとグラフを関連付けて判断する問題、文字式が表す図を選択する問題などで改善が図られました。
- ・理科では、小学校の昆虫や植物の育ち方や体のつくりの問題で改善が図られました。中学校では、食塩水の蒸発について、課題に対応した考察になるように考察を書き直す問題などで改善が図られました。

③ 過去からの改善が特に図られていない問題

《結果》

- ・国語では、接続語を使って一文を二文に分けて書く問題が、小中学校ともに改善が図られていません。
- ・算数・数学では、グラフの読み取りや図形の問題、加えて数学ではヒストグラムの活用の問題で改善が図られていません。
- ・理科では、観察・実験の結果を考察する問題、屈折した光の道筋を作図する問題などで改善が図られていません。

小学校 第4学年	設問番号と問題概要	県平均正答率		改善状況
		今回	過去	
理科	1 (3) : ホウセンカを育つ順に並べる	48.3%	57.1%	- 8.8

小学校 第5学年	設問番号と問題概要	県平均正答率		改善状況
		今回	過去	
国語	1 三 : 接続語を使って一文を二文に分けて書く	27.8%	47.3%	- 19.5
	2 二 : 理由を文章中の言葉を使って書く	39.3%	47.8%	- 8.5
算数	1 (2) : 棒グラフから数値を読み取り、何倍かを求める	60.3%	82.1%	- 21.8
	4 (1) : 長方形を1本の対角線で切ったときにできる図形の名前を選択する	70.8%	78.6%	- 7.8
理科	2 (1) : 温度計で気温を測る際の正しい条件を選択する	62.9%	68.2%	- 5.3

中学校 第1学年	設問番号と問題概要	県平均正答率		改善状況
		今回	過去	
国語	1 一(2) : 「車窓」を読む	56.2%	68.0%	- 11.8
	1 二(2) : 「沿(って)」を漢字で書く	55.8%	63.6%	- 7.8
	1 四 : 接続語を使って一文を二文に分けて書く	31.1%	47.3%	- 16.2
数学	2 (4)② : 点対称な形を選択する	64.5%	71.5%	- 7.0
	2 (5) : 柱状グラフの説明を選択する	65.0%	73.4%	- 8.4
	3 (1) : 台形を選択する	84.4%	92.5%	- 8.1
理科	1 (4) : 振り子時計の調整の仕方を選択する	52.2%	59.8%	- 7.6
	1 (5) : 金属の熱膨張を示すグラフから、振り子時計の軸にふさわしい金属を選択し、その理由を記述する	56.8%	62.3%	- 5.5
	5 (2) : 「影の観察記録」を基に、木の影の長さの変化を表したグラフを選択する	28.7%	53.5%	- 24.8

中学校 第2学年	設問番号と問題概要	県平均正答率		改善状況
		今回	過去	
国語	1 二(2) : 「営(む)」を漢字で書く	81.3%	86.7%	- 5.4
	1 四 : 「白羽の矢が立つ」を完成させる	42.7%	51.9%	- 9.2
	1 六 : 行書の特徴を捉えた助言を選択する	45.6%	53.8%	- 8.2
数学	2 (2) : 比例のグラフでyの変域を求める	44.5%	49.9%	- 5.4
	4 (1) : 垂線の作図に利用されている対称な図形の性質を選択する	55.8%	66.1%	- 10.3
	4 (2) : 45°の作図の方法を説明した文の空欄に適切な語句をあてはめる	23.8%	38.1%	- 14.3
理科	2 (1) : 屈折した光の道筋を作図する	15.2%	23.8%	- 8.6